

### 3. 安心、安全な暮らしの実現

#### 政策の基本目標

町民の暮らしを支えるうえで基本となる目標は、安心、安全に生活を続けていくことです。そのため、町民の生活に寄り添いながら、生活環境などにかかる基盤整備を着実に進め、支えあいなどを中心とした取り組みとあわせ、暮らしやすさの確保に努めます。また、地域による主体的な地域づくり活動を積極的に促進する中で、「小さな拠点」づくりや地域間連携の推進など新しい取り組み方向を導入し、コミュニティ機能の保全、強化を目指します。

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	目標値
「小国町に愛着がある」人の割合	57.4%(H27)	70%(H31)
「小国町に住み続けたい」と思う人の割合	47.6%(H27)	70%(H31)
地域活動への参加意向	23.4%(H27)	50%(H31)

#### 講ずべき施策の基本方向

##### (1)生活基盤・社会基盤の整備

町民生活の安定に必要な生活基盤、情報・交通基盤の整備、地域公共交通の確保に向け、確実な取り組みを図るとともに、現存する社会資本を継続的に維持、活用していくための対策を進めます。

##### (2)医療介護体制・防災体制の充実

町立病院の医療体制、民間事業者を含めた介護体制の保持、充実を図り、町民のニーズに的確に対応する医療、介護サービスの提供に努めます。また、自然災害などから町民の生命、財産、生活を守り、安全・安心な暮らしを維持するために必要な取り組みを図り、災害に強いまちづくりを目指します。

##### (3)健康づくりの促進と高齢者福祉の推進

町民の主体的な健康づくり活動に向けた取り組みのほか、多様な手法による健康づくりの仕組み構築を進めます。さらには、高齢者が地域において安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの拡充をはじめ、各関係機関や地域との連携、一体となった高齢者の生活支援を推進します。

##### (4)総合的な雪対策をはじめとする「住みよさ」の追求

小国町は、全国有数の豪雪地帯であり、冬季間の除雪は町民生活を支える重要な施策であることから、引き続ききめ細かな除排雪体制の整備や高齢者にやさしい除雪の推進を図るとともに、新たな除雪の仕組みづくりに努め、除雪推進とあわせ総合的な取り組みとして、住宅

周辺の雪処理に対する不安の解消につなげます。

### (5)環境への配慮と里山景観の保全

ごみの減量化や再生可能エネルギー資源の効果的活用を図るなど、環境に配慮した循環のシステム構築に向け、取り組みを加速させます。一方、小国町が有する美しい田園、豊かな里山景観の保全を目指し、環境・景観を守るため継続的な取り組みを進め、小国らしさを誇りとした発信力を高めていきます。

### (6)地域ごとの特性に応じた住民主体の地域づくりの促進

基本構想で示した6つの地域づくり基盤と地域別テーマに基づき、それぞれの地域特性を活かした地域づくりを進めるための環境づくりに努め、地域における担い手の育成とともにまちづくりの主役である町民の主体的な活動展開を図ります。

### (7)多様な主体の参画による「小さな拠点」づくりと集落ネットワーク圏の形成

地域づくりにおいて外部人材も含めた多様な主体の参画を促進するとともに、集落や地域内の生活サービス機能と地域コミュニティ機能をあわせもつ「小さな拠点」づくりとそのネットワーク化を通じて、町民生活における安定確保と地域の活性化に向けた取り組みを推進します。

### (8)地域づくりを推進する仕組み(「山の暮らし伝承創造機構」)の構築と推進拠点の整備

知恵と技の継承、発展を図るための仕組みである、「山の暮らし伝承創造機構」の創設に向け、引き続き取り組みを進める一方、その母体となる体制や機能を内包する、新たなまちづくり拠点の整備を目指し、計画的な事業推進を図ります。

## 具体的な施策の内容

### (1)生活基盤・社会基盤の整備

#### ①生活基盤の保全と情報・交通基盤の整備

生活環境基盤の機能維持や住宅環境の充実に向けた支援を継続して進めます。また、携帯電話受信エリアの拡大など情報通信基盤の充実、道路の維持管理や少子高齢化に対応した地域公共交通の運行等も含め、交通基盤の整備に取り組みます。特に、地域高規格道路である「新潟山形南部連絡道路」の整備と「小国道路」着工の早期実現に向け、関係機関等と一体となり強力な促進活動を展開します。

#### 【個別の取り組み】

- 上水道・簡易水道の安定供給
- ごみ・廃棄物の収集、処理
- 公共下水道事業の推進
- 合併処理浄化槽設置に対する支援

- 住宅総合助成の推進
- 町道の改修、整備、維持管理の推進
- 地域公共交通運行事業の展開  
(デマンドタクシーの運行、内循環線の運行、公共交通空白地有償運行の実験)
- 広域連携による鉄道路線を活用した生活基盤の維持・強化
- 都市部での都市機能を享受できる交通基盤の整備<sup>i)</sup>
- 「新潟山形南部連絡道路」整備促進活動の展開
- 「新潟山形南部連絡道路」整備に伴う土地利用計画の策定

## ②社会資本の長寿命化の促進

道路や橋梁、水道、下水道等、小国町内の社会資本の長寿命化を図るとともに、公共施設の機能統合等を含め、その役割を十分に果たすことができるよう適正な維持管理に努めます。

### 【個別の取り組み】

- 橋梁長寿命化の推進
- 公共下水道長寿命化計画の推進
- 公共施設管理計画の策定[再掲]

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
公共交通空白地有償運行実施地域	0 地域(H27)	2 地域(H31)
橋梁長寿命化への改良率	2.7%(H26)	27%(H31)

## (2)医療介護体制・防災体制の充実

### ①医療介護体制の充実

町立病院において、新たに設置した地域包括ケア病床を中心に在宅復帰の支援を強化するとともに、他の医療機関との連携を深めながら、町民の医療ニーズに応える地域医療サービスを提供するため、その体制充実を図ります。また、小国町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、居宅介護や施設介護等の各種サービス、介護予防の取り組みを展開する一方、新たにスタートする介護予防・日常生活支援総合事業の的確な推進を図るなど、地域包括ケアシステムの拡充を進めます。

### 【個別の取り組み】

- 医師確保対策の推進
- 医療機器更新、電子カルテ更新
- 訪問看護サービスの推進
- 人工透析実施に向けた環境整備
- 介護保険事業の推進
- 高齢者保健福祉・介護保険事業計画の策定
- 介護職員初任者研修受講への支援

## ②安心、安全な生活の確保

近年多発する自然災害等に対応した防災体制の強化を目指し、自主防災組織の組織化促進、活動支援や消防施設・資機材等の計画的な整備・更新に加え、新たに災害情報伝達システムの整備を進めるとともに、災害時要支援者に対する支援体制の構築を図ります。また、治山、治水事業の継続的な推進を図り、安心、安全な生活の確保につなげます。

### 【個別の取り組み】

- 自主防災組織の活動支援
- 消防施設・資機材等の整備
- 災害情報伝達システムの整備
- 災害時要支援体制の構築
- 防災センターの整備

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
認知症サポーター登録者数	273人(H27)	800人(H31)
自主防災組織率	48.1%(H27)	65%(H31)

## (3)健康づくりの促進と高齢者福祉の推進

### ①保健、福祉サービスの充実

健康寿命の延伸を目指して、各種検診等の充実や、各種健康教室の開催等、町民が主体となった健康づくり活動の推進を図るほか、健康により関心を向けられる取り組みを進めることにより、町民のさらなる健康維持を推進します。さらには、地域において障がい者が生き生きと生活し、社会参加していくための福祉サービスの充実を図ります。

### 【個別の取り組み】

- 健康増進事業の推進
- 各種検診、予防接種事業の推進
- 健康ポイントによる健康づくり事業の推進
- 障がい者福祉サービスの充実
- 障がい者福祉計画の策定

### ②高齢者の見守り体制の強化

高齢化が進行している中、一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯が増えていることを受け、地域で支える仕組みやICTの活用による見守り体制の構築を図るとともに、地域サロン、安心見守りサービスの継続により、高齢者の安心、安全な生活を確保します。

### 【個別の取り組み】

- 支えあいほっとライン事業の推進  
(地域サロン、安心見守りサービス、福祉専門員の設置)

- ICTを活用した高齢者の見守り体制の整備
- 各種検診事業の推進
- 高齢者暮らし応援事業の推進
- 生きがいづくり支援の展開
- 高齢者の多様な居住空間形成支援

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
健康増進活動の町民参加率(65歳以上)	2.2%(H26)	4.7%(H31)
「いきいきサロン」開設地区	33地区(H27)	38地区(H31)

#### (4)総合的な雪対策をはじめとする「住みよさ」の追求

##### ①除雪体制の充実

これまで同様、町内の除排雪体制の整備を進め、冬季間における町民生活の安定化を図ります。

##### 【個別の取り組み】

- 除排雪事業の推進
- 除雪機械の整備
- 流雪溝用水導水路の整備
- ハンドガイド式除雪機の貸出促進
- 高齢者暮らし応援事業の推進[再掲]

##### ②除雪にかかる新たな仕組みづくり

道路等での機械除雪の充実のほかに、特に高齢者宅等における住宅周辺の除排雪に対し、新しい取り組みを進める等住みやすさを求めた多様な雪対策を展開します。

##### 【個別の取り組み】

- 除雪ボランティアの仕組みづくり
- 屋根雪下ろし講習会の開催

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
除雪にかかる共助の仕組みのある地域(ハンドガイド式除雪機貸出)	5地域(H27)	7地域(H31)
除雪ボランティア参加者数	0人(H26)	30人(H31)

#### (5)環境への配慮と里山景観の保全

##### ①環境に配慮した生活の促進

ごみの減量化、省エネルギーや節電等、環境を意識した生活や企業活動等に向け、小国

町全体での取り組みとなるよう情報発信と情報提供を図ります。中でも、ごみの減量化につながる生ごみ堆肥化の取り組みにおいては、継続して展開しその拡大を目指します。

**【個別の取り組み】**

- 生ごみ堆肥化の展開
- 交流施設の省エネルギー化の促進
- 公共施設におけるごみ減量・省エネルギー化の促進
- 小国らしい暮らし(小国ライフ)の普及と推進
- 環境基本計画の策定

**②美しい田園、里山景観の保全**

小国町の農山村景観や原風景が町民の誇るべき財産であることを再認識し、その保全や継承に向けた取り組みを進めることにより、子どもたちや若い世代にその素晴らしさを受け継いでいきます。また、間伐の促進など森林、里山の適正な管理を図るとともに、森林保全や森林景観の創造を目指した新たな仕組みづくりを進める一方、町中心地域における美しい街並みの保全に向けた取り組みを推進します。

**【個別の取り組み】**

- 子どもたちによる間伐体験教室の開催
- 山菜きのこの学校の開催
- ワラビ園産地形成事業の推進
- 森の恵みを活用している若い農林業者の体験発表
- ナラ枯れ被害対策の促進
- 街並み景観の保全

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
一人当たりごみ排出量(生活系ごみ;1日平均)	519g(H26)	470g(H31)
町内産木材利用件数(補助金申請;年間)	6件(H26)	10件(H31)

**(6)地域ごとの特性に応じた住民主体の地域づくりの促進**

**①地域における主体的な地域づくりの展開**

地域において課題の共有化を図り、その解決方法と未来の地域像を明らかにするため、地域が主体的に取り組む地域づくり計画の策定を支援し、十分な議論を踏まえたうえで、地域づくりの取り組みや展開手法の整理とその実践に結びつけます。

**【個別の取り組み】**

- ふるさとづくり総合助成の推進

**②地域づくりの担い手育成**

地域づくりを推進するうえで、その先導役となるリーダーの役割が重要であるため、その育成に向けた取り組みを図ります。特に地域においては、女性の存在が不可欠であることから、その活躍の場づくりを進めます。

#### 【個別の取り組み】

- 地域づくり研修会への参加促進
- 女性のための地域づくり講座の開設
- 地域青年研修制度の創設<sup>1)</sup>

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
地域づくり計画策定済み地区	0 地区(H27)	5 地区(H31)
各種地域づくり研修参加者数	0 人(H27)	25 人(H31)

### (7) 多様な主体の参画による「小さな拠点」づくりと集落ネットワーク圏の形成

#### ①「小さな拠点」に基づくコミュニティ機能再生の推進<sup>ii)</sup>

複数の集落が集まる地域において、生活サービスや地域活動をつなぐことにより、人々が集い交流機会の拡大に結びつく、新しい集落再生の仕組みである「小さな拠点」づくりを、現在取り組んでいる地域に加え、他地域にも広げて展開し、地域の暮らしを守る「心の大きな拠り所」と地域の未来への展望を拓く「希望の拠点」として、コミュニティ機能の再生を目指します。

#### ②地域間の連携強化<sup>2)</sup>

各集落や地域単体での地域づくり活動等だけでなく、集落間、地域間で連携した取り組みを推進することにより、持続的な活動や新たな発展に結びつけていきます。

#### 【個別の取り組み】

- 地域間で連携した取り組みの推進

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
「小さな拠点」づくり取組地区数	2 地区(H27)	6 地区(H31)
地域間連携事業数	0 件(H27)	5 件(H31)

### (8) 地域づくりを推進する仕組み(「山の暮らし伝承創造機構(仮称)」)の構築と推進拠点の整備

#### ①地域づくりをコーディネートする「山の暮らし伝承創造機構(仮称)」の創設

小国町の生活文化・生活技術の継承、発展をはじめ、自然体験学習や知識・技術の習得を中心とする人づくり、さらには産業づくりなど、豊かな地域資源の保全、活用を通じて外部との交流・連携や定住促進等の情報発信等に関わるあらゆる主体の協働の拠点と同時に、地域の課題解決を含めた地域づくり活動等をマネジメントする仕組みとして、「山の暮らし伝承

創造機構」の創設とその活動を展開します。

## ②多面的な機能を有するまちづくりの新たな拠点の整備

これまでまちづくりを進めるうえで重要な役割を果たしてきた、おぐに開発総合センターに替わる、新たな地域創造の拠点の整備に向け必要な取り組みを進めます。この拠点施設の整備における基本的な方向としては、「山の暮らし伝承創造機構」を内蔵するハードとして、複合的な機能をあわせ持つことにより、「おぐにらしさ」やその魅力を具現化し、次代の地域住民に継承しつつその価値を広く発信していくことを目指します。

数値目標(成果指標)	現状値(基準値)	重要業績評価指標(KPI)
「山の暮らし伝承創造機構(仮称)」の設立	-	設立

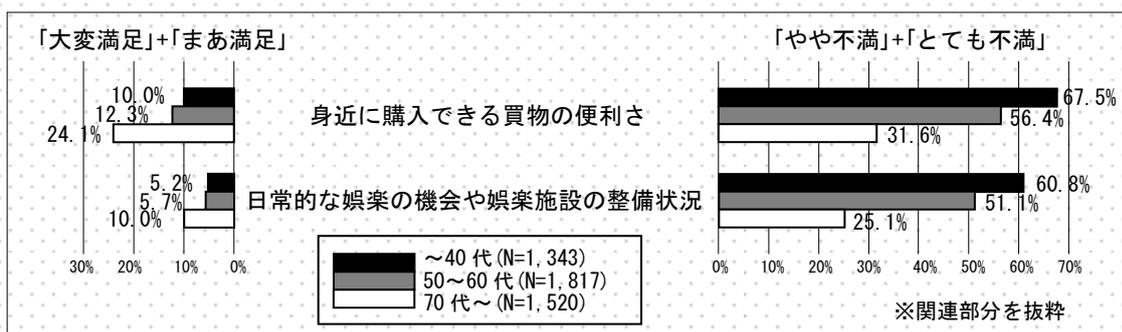
### 総合戦略策定メモ

#### \* 小国町地域創生総合戦略策定懇話会で提案された取り組み～

- 1) 若者たちが地域の未来像を見つめることのできる環境づくり(地域創造・暮らし安心部会) -- p27
- 2) コミュニティ同士、また多様な世代の情報交換、連携の強化(地域創造・暮らし安心部会) -- p27

#### \*\* 住民等意識アンケートの結果から～

i) 「小国町の生活環境についての満足度」について、若い世代で「身近に購入できる買物の便利さ」「日常的な娯楽の機会娯楽施設やの整備状況」が、より高く不満を感じています。----- p23



ii) 「必要な集落対策」との問いに対し、「買い物や福祉などの身近なサービスの拠点づくり」を望む声が多くなっています。----- p27

